

院生企画セミナーI 実施報告書

2008年9月28日

報告者 複合現象科学専攻 2回生 石川千里

魅力ある大学院教育イニシアティブ「先端科学技術の芽を生み出す女性研究者育成」プログラムによる院生企画セミナーIIの実施報告をします。

記

名称： 「先端科学技術の芽を生み出す女性研究者育成」院生企画セミナー I

題目： Evolution of a Parallel Performance System

講師： Prof. Allen Malony (University of Oregon)

日時： 2008年9月26日 講演10:00-11:00, ディスカッション11:00-12:00

場所： 本学F棟5階大会議室

参加人数： 39名

Oregon 大学から Malony 教授をお招きし、講演をしていただきました。講演当日は大雨にも関わらず、受講対象である博士課程の学生のみならず、学部生や修士課程や先生方あわせて39名が出席しました(写真：右)。

今回の講演では、Malony 教授の研究チームが15年以上かけて開発してきた、並列計算のための様々なツールの統合的システムである TAU[※] Performance System (TM) についてお話していただきました。まず、プログラム内の計算を最適に並列化するために必要な事について述べられ、そこからシステムに求められる機能やシステムの概要のお話に発展しました。システムは大規模なもので、システム構成についてのお話では、豊富な図のパワーポイントを用いて私達の理解を補助してくださりました(写真：左)。具体的な機能や、機能を用いた分析実例の紹介では、システムの表示画面を多数見せていただきながらお話を聞くことが出来ました。

講演はもちろん英語で行われましたが、非常に明瞭な発音で、平易な単語や短文を使ってわかりやすくお話していただきました。内容だけでなく、英語でのわかりやすいプレゼンテーションの勉強としても、非常に有意義な講演でした。

講演後のディスカッションでは、簡単な質疑応答の後、学生による発表を Malony 教授に聞いていただき、各発表者は研究に関するご助言を Malony 教授よりいただきました。

最後に、日本での貴重なお時間を割いてご講演いただいた Malony 教授に、深くお礼申し上げます。

